

# 景気動向調査結果

(平成26年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業） 400 社）を対象に、平成 26 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 26 年 8 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、472 社（製造業 242 社（うち面接 63 社）、非製造業 230 社）で、回答率は 67.4 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

# 平成26年7月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、一部には消費税率引上げの影響がみられるものの、緩やかな回復基調が続いています。

製造業では、一部には消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、設備投資が回復傾向にあることや、自動車関連など海外需要が堅調に推移していることから、電機・電子、一般機械、自動車部品を中心に、受注、生産が回復しています。

非製造業では、消費税率引上げの影響が和らぎ、前年同期と比べ、宿泊業を除く業種で業況が改善しました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（25年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は14.8となり、前回調査時（26年4月）の14.4より0.4ポイント改善し、4期連続のプラスとなりました。

3か月前（26年4月）と比較したD Iは5.0となり、前回調査時の $\Delta 0.9$ より5.9ポイント改善し、2期ぶりのプラスとなりました。

なお、3か月後（26年10月）の予想では、原材料価格上昇への不安などはあるものの、円安傾向に伴う輸出環境の改善への期待感などを背景に、D Iは $\Delta 2.9$ となり、前回予想の $\Delta 6.0$ から3.1ポイント改善しました。

### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、タブレット型端末向けの需要が堅調に推移しているほか、パソコン関連では一部に受注、生産の持ち直しがみられます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、一部に一服感がみられるものの、自動車関連向けや産業用途を中心に、受注、生産が回復しています。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産の増加がみられます。建設機械は、国内向けで、復興需要の継続などにより、受注、生産が増加しているほか、海外向けで、北米を中心とした需要の増加により、受注、生産が増加しています。

ウ 精密では、時計は、高価格帯製品を中心に、受注、生産の回復がみられます。レンズは、自動車関連向けで、受注の持ち直しがみられるものの、プロジェクター向けでは、製品価格低下による収益率の低下がみられます。計器は、自動車関連向けで、受注、生産の持ち直しがみられます。

エ 自動車部品では、消費税率引上げの影響が和らぐとともに、北米やアジア地域などの海外向けを中心に、受注、生産が増加しています。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ、受注、生産の減少がみられるとともに、原材料価格上昇による収益率の低下がみられます。酒類は、一部に受注の増加がみられるものの、消費税率引上げの影響に加え、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は、消費税率引上げの影響等により、受注、生産の一部が弱含んでいます。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が41.5%と前回(39.8%)より増加し、「減少」とする企業が25.0%と前回(31.2%)より減少した結果、D Iは前回(8.6)より改善し、16.5となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が27.3%と前回(25.0%)より増加し、「減少」とする企業が23.5%と前回(26.3%)より減少した結果、D Iは前回(△1.3)より改善し、3.8となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が20.0%、「減少」とする企業が18.7%となった結果、D Iは前回予想(△3.9)より改善し、1.3となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が43.1%と前回と同じとなり、「減少」とする企業が22.6%と前回(27.2%)より減少した結果、D Iは前回(15.9)より改善し、20.5となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が28.8%と前回(27.8%)よりやや増加し、「減少」とする企業が20.4%と前回(22.2%)より減少した結果、D Iは前回(5.6)より改善し、8.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が20.5%、「減少」とする企業が20.9%となった結果、D Iは前回予想(△3.4)より改善し、△0.4となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が9.6%と前回(9.0%)よりやや増加し、「安い」とする企業が32.2%と前回(27.5%)より増加した結果、D Iは前回(△18.5)より悪化し、△22.6となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が5.0%と前回(6.9%)より減少し、「安い」とする企業が18.3%と前回(17.2%)より増加した結果、D Iは前回(△10.3)より悪化し、△13.3となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が5.4%、「安い」とする企業が18.8%となった結果、D Iは前回予想(△11.7)より悪化し、△13.4となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が11.2%と前回(13.6%)より減少し、「苦しい」とする企業も11.2%と前回(17.1%)より減少した結果、D Iは前回(△3.5)より改善し、0.0となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が8.2%と前回(8.8%)よりやや減少し、「苦しい」とする企業が6.4%と前回(11.8%)より減少した結果、D Iは前回(△3.0)より改善し、1.8となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.2%、「苦しい」とする企業が9.9%となった結果、D Iは前回予想(△13.3)より改善し、△4.7となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が25.5%と前回(22.1%)より増加し、「低下」とする企業が36.8%と前回(38.1%)より減少した結果、D Iは前回(△16.0)より改善し、△11.3となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が13.8%と前回(14.7%)よりやや減少し、「低下」とする企業が24.6%と前回(31.0%)より減少した結果、D Iは前回(△16.3)より改善し、△10.8となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が9.6%、「低下」とする企業が27.5%となった結果、D Iは前回予想(△19.0)より改善し、△17.9となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) タブレット型端末向けの需要が堅調に推移しているほか、パソコン関連では、一部に受注、生産の持ち直しがみられません。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。
- (半導体関連) デジタル家電向けで、需要の減少により、受注、生産の減少が続いているものの、自動車関連向けや産業用途では、受注、生産に増加がみられます。
- (プリント基板) 産業用途では、受注、生産ともに持ち直しがみられます。情報機器では、スマートフォン向けで、海外需要の増加により、受注、生産が増加しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 家電向けの一部では、受注、生産に回復がみられます。自動車関連向けでは、海外向けを中心に、受注、生産が回復しているものの、エネルギー関連向けでは、受注、生産に一服感がみられます。
- (モーター等) 家電向けの一部では、アジアを中心とした新興国での需要増加により、受注、生産が回復しています。産業用途や自動車関連向けも、受注、生産が回復しています。
- (その他) カーナビゲーションは、円安傾向に伴う輸出環境の改善や、北米での需要の増加に加え、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が和らいだことから、受注、生産に持ち直しがみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

### 一般機械

- (工作機械) 自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産に増加がみられます。
- (金 型) 自動車関連向けは、受注、生産が低調に推移しているほか、価格競争激化による収益率の低下もみられます。
- (建設機械) 国内向けで、復興需要の継続などにより、受注、生産が増加しているほか、海外向けで、北米を中心とした需要の増加により、受注、生産が増加しています。
- (農業用機械等) 国内向けでは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が和らぎつつあります。海外向けでは、北米での需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。

精 密 (時 計)	腕時計は、高価格帯製品を中心に、受注、生産の回復がみられます。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで、受注の持ち直しがみられるものの、プロジェクター向けでは、製品価格低下による収益率の低下がみられます。
(計 器)	圧力計は、自動車関連向けで、受注、生産の持ち直しがみられます。LP ガスメーターは、季節的要因により、受注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が和らぐとともに、北米やアジア地域などの海外向けを中心に、受注、生産が増加しています。
食 料 品 (味 そ)	季節的要因により、3 か月前と比べ、受注、生産の減少がみられるとともに、原材料価格上昇による収益率の低下がみられます。
(酒 類)	清酒、ワインは、一部に受注の増加がみられるものの、消費税率引上げの影響に加え、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。
(飲 料)	消費税率引上げ等の影響により、受注、生産の一部が弱含んでいます。
繊 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により、3 か月前と比べ、受注、生産が減少しています。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、青果向けで、季節的要因により、3 か月前と比べ、受注、生産の増加がみられます。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産の増加がみられます。

## 3 非製造業

### (1) 業界の業況

非製造業のD Iは、前年同期と比べ、宿泊業を除いた業種で改善しました。

前年同期（平成25年7月）と比較したD Iは $\Delta 31.0$ となり、前回調査時（平成26年4月）の $\Delta 41.3$ から10.3ポイント改善しました。

3か月前（平成26年4月）と比較したD Iは $\Delta 11.1$ となり、前回調査時の $\Delta 31.5$ と比較すると20.4ポイント改善しました。

なお、3か月後（平成26年10月）の予想は、D Iは $\Delta 16.9$ と前回調査時の $\Delta 21.2$ と比較すると4.3ポイント改善する見通しです。

### (2) 各業界の動き

#### ア 建設業

建設業の業況感は、公共工事の予算が前年並みに組まれていることなどから、D Iが0.0となり、前回（ $\Delta 7.7$ ）より改善しました。

3か月後の業況感の予想D Iは、受注競争の激化や原材料価格の高止まり、人件費の上昇による収益率の低下などから、悪化が予想されますが、今後は採算を重視した受注による収益率の改善が見込まれています。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業の業況感は、D Iが50.0と前回（11.1）より大幅に改善しました。

ソフトウェアなどの前倒し受注など消費税率引き上げの影響も和らぎ、売上高、受注件数ともに前年を上回る企業の割合が増加しました。また、今後も売上高、客数はともに安定して推移するとみられており、3か月後の業況の予想D Iは、7月と同水準となることが予想されます。

#### ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、D Iが $\Delta 43.9$ と前回（ $\Delta 56.0$ ）より改善しました。

小売業では、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動は和らいでおり、売上高、客数のD Iはマイナス水準ながらも改善しました。3か月後の業況感の予想D Iは、光熱費の上昇や競合店との価格競争など厳しい収益環境が続いていることから、悪化が予想されますが、売上高、客数は改善が見込まれています。

卸売業では、消費税率引き上げの影響が和らぎ、売上高、客数ともに改善した企業の割合が増加しました。

#### エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、D Iが $\Delta 13.5$ と前回（ $\Delta 12.1$ ）よりやや悪化しました。

飲食業では、売上高、客数ともに改善がみられ、業況も改善しました。しかし、仕入れ価格や光熱費などの上昇により収益面は厳しい状況が続いていることから、3か月後の業況感の予想D Iは悪化が予想されます。

宿泊業では、客数、客単価の減少がみられたほか、光熱費などの上昇による経費の増加で収益率も悪化し、「悪い」と答える企業の割合が大幅に増加しました。

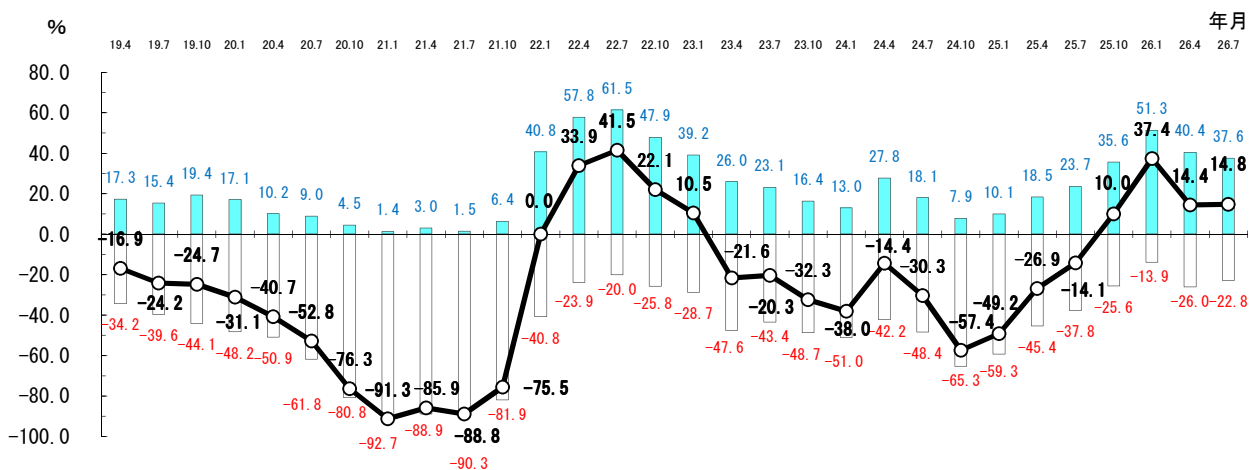
# 景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。  
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

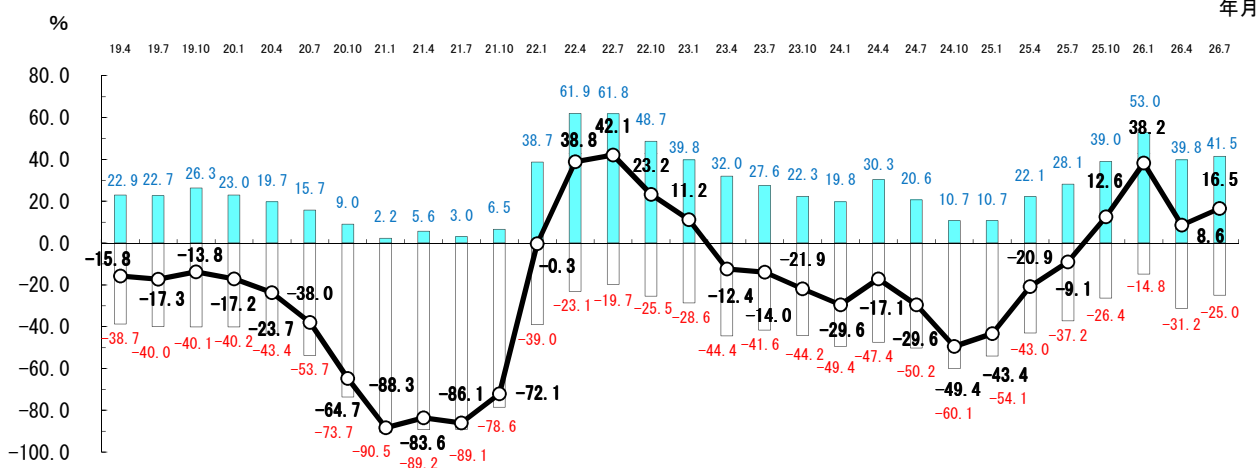
## 1 製造業

### (1) 前年同期に比べて

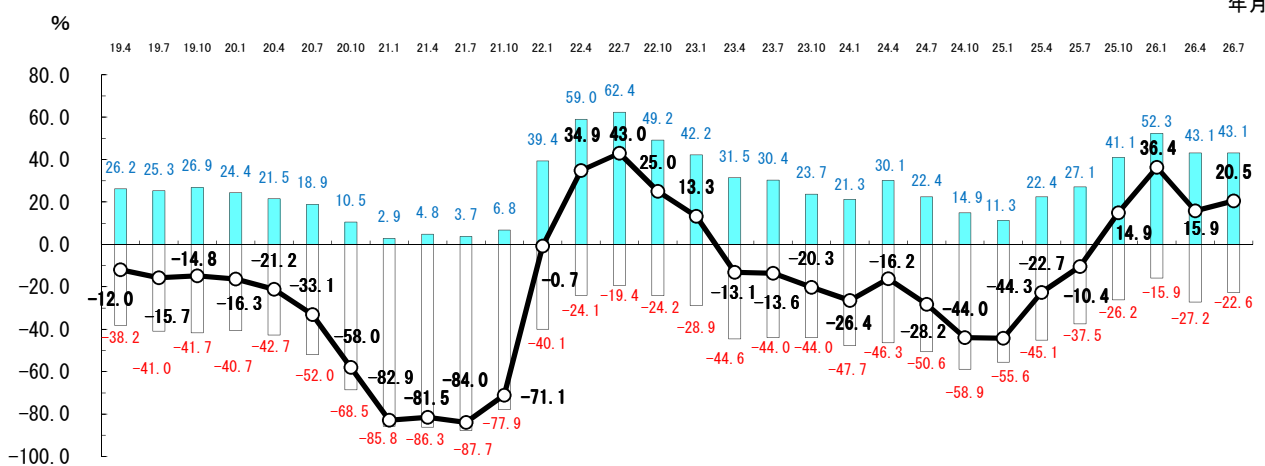
#### 業界の業況



#### 受注引合



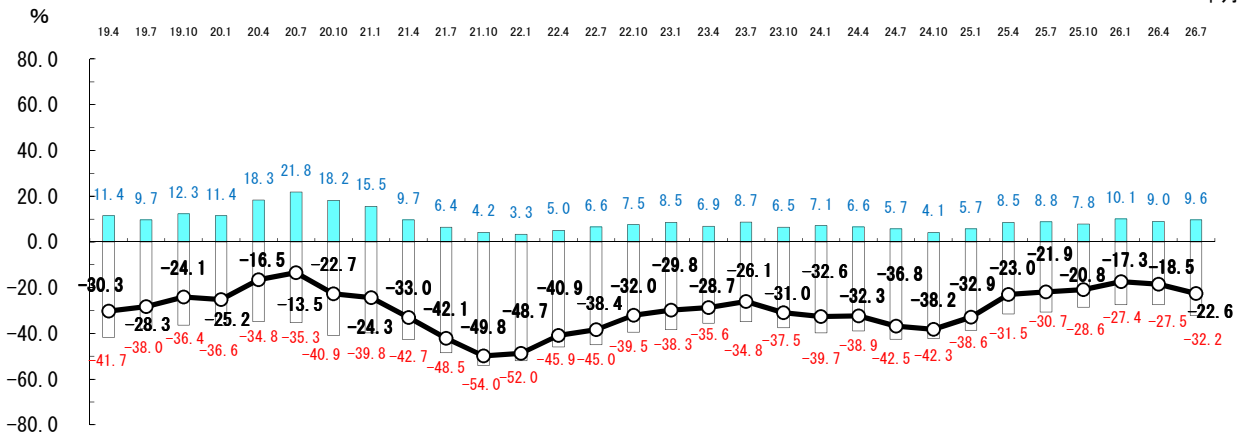
#### 生産量





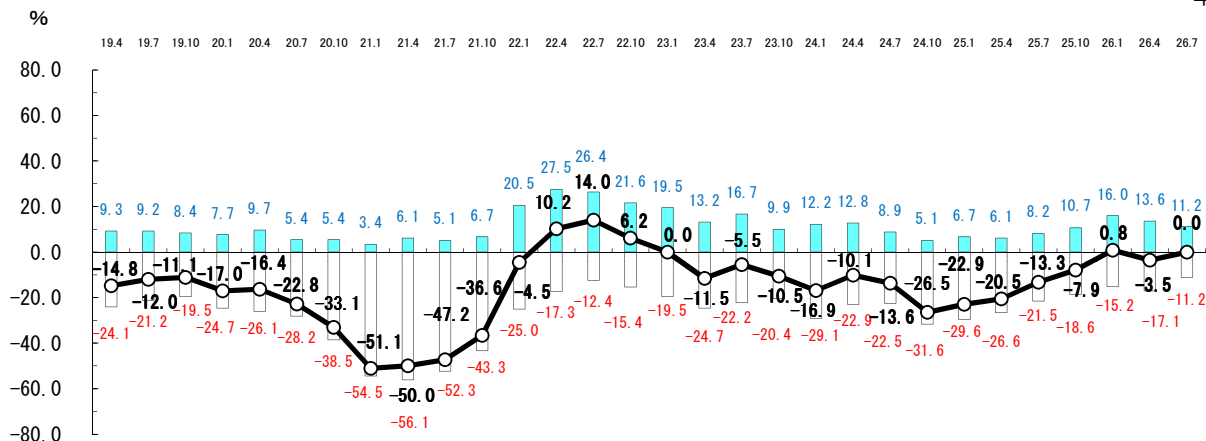
### 製品販売価格

年月



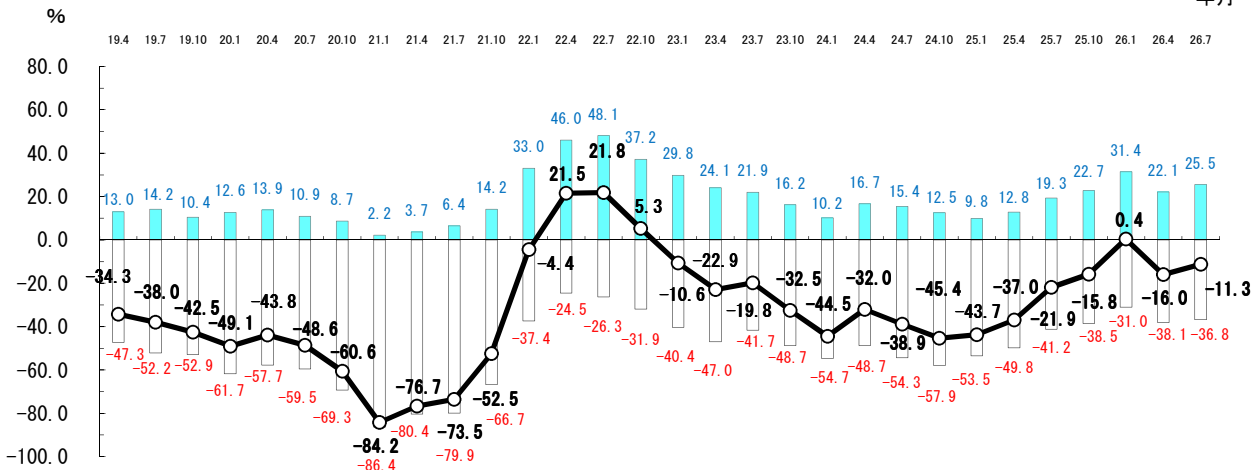
### 資金繰り

年月



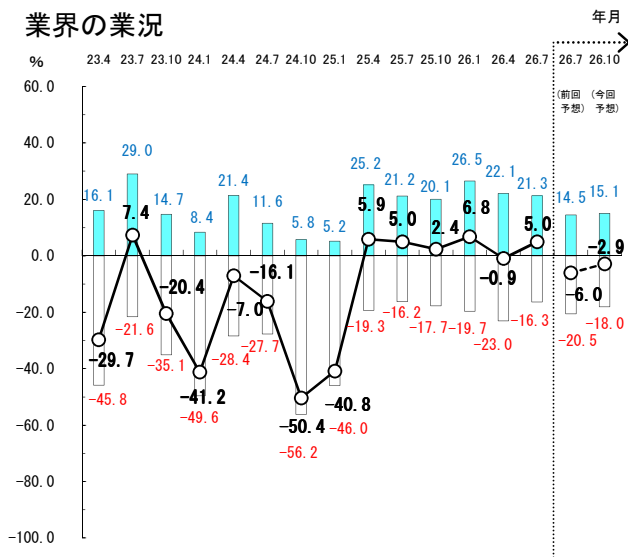
### 収益率

年月

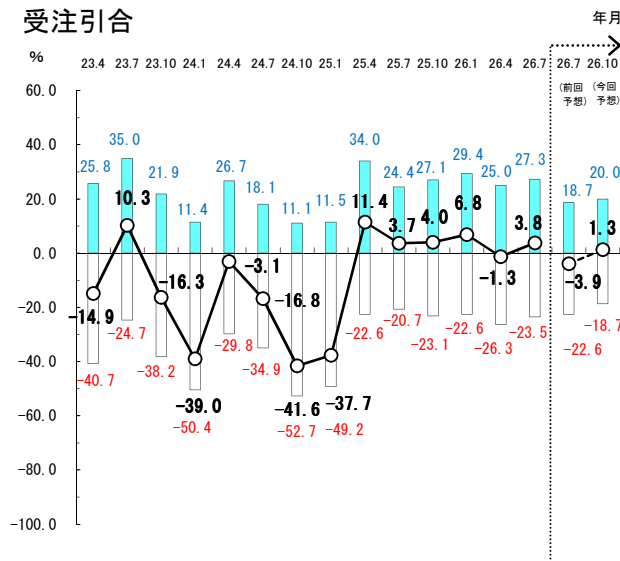


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

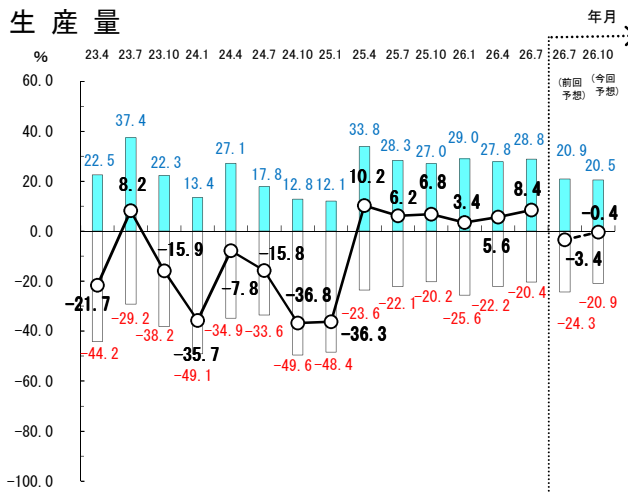
業界の業況



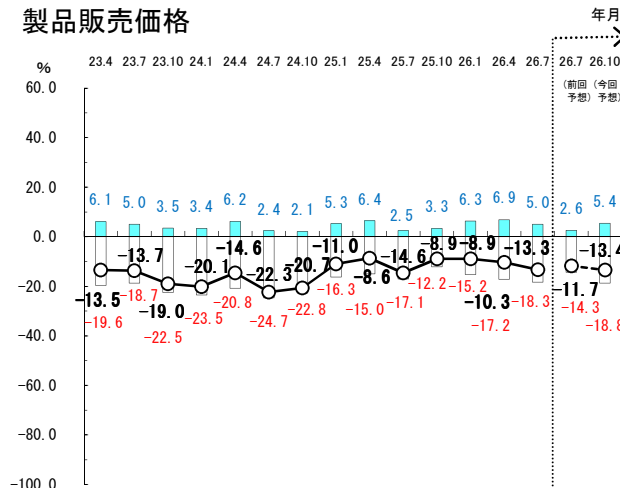
受注引合



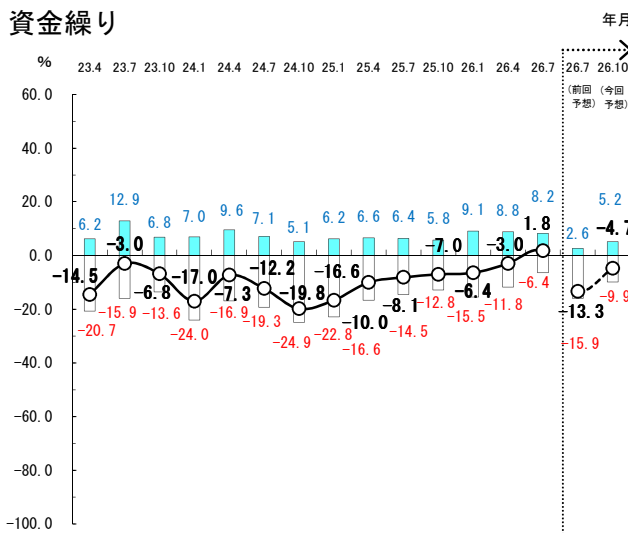
生産量



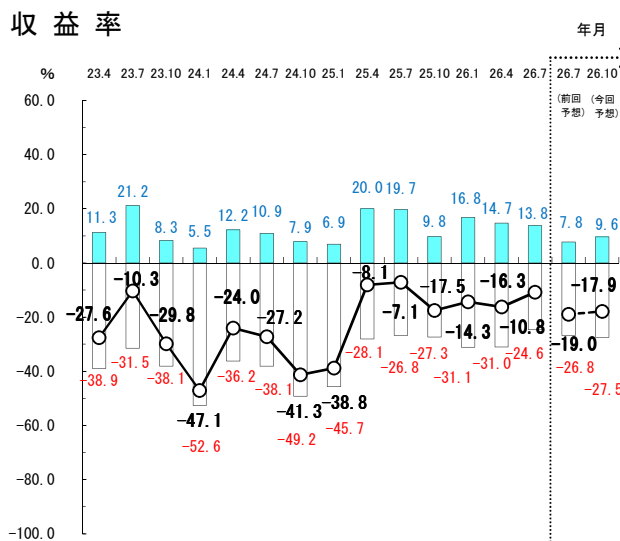
製品販売価格



資金繰り



収益率

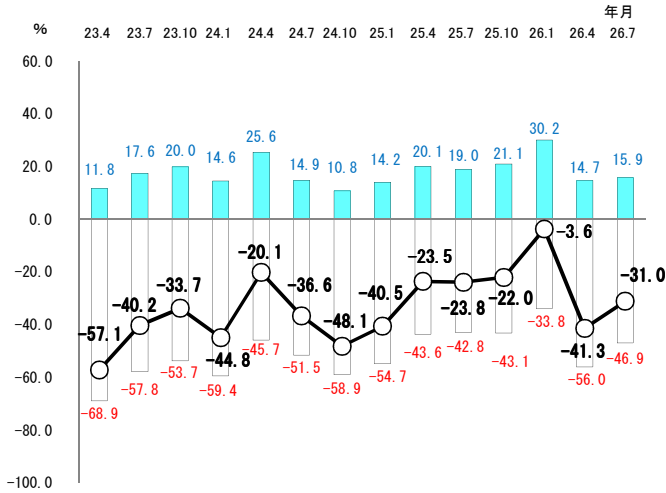


## 2 非製造業

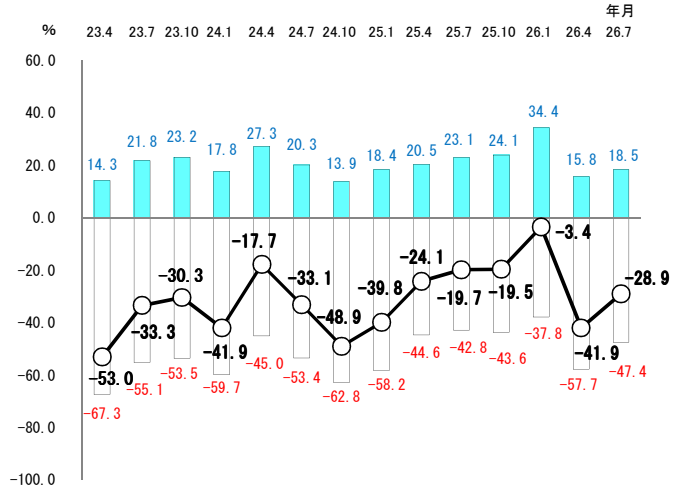
### (1) 前年同期に比べて

#### 非製造業全体

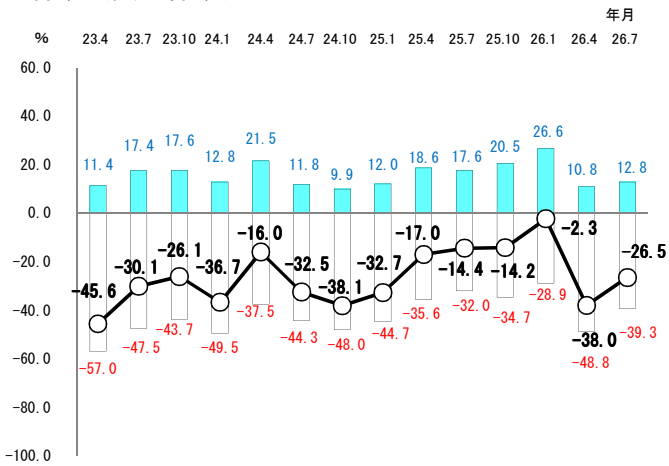
##### 業況



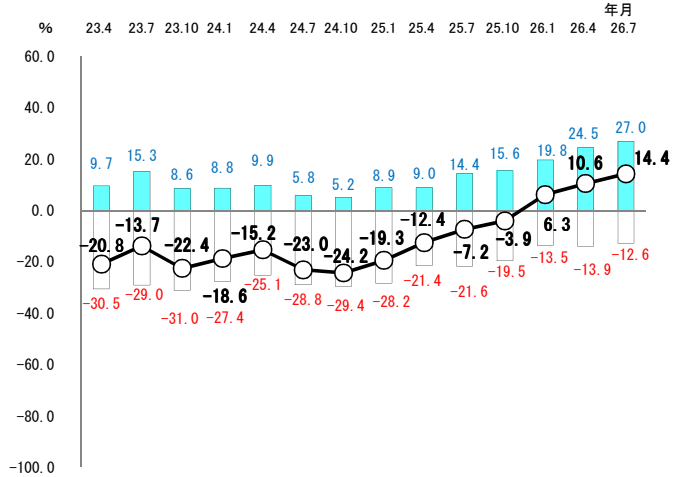
##### 売上高



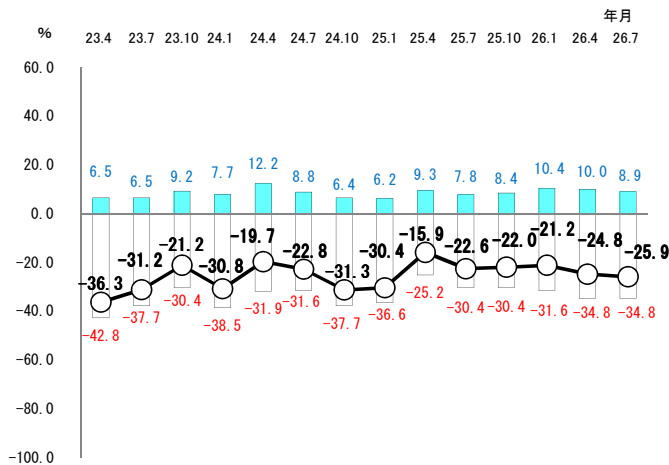
##### 客数 (受注件数)



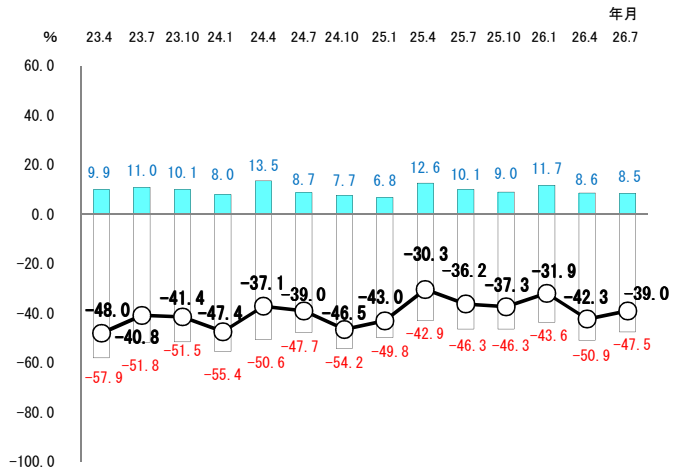
##### 販売価格



##### 資金繰り

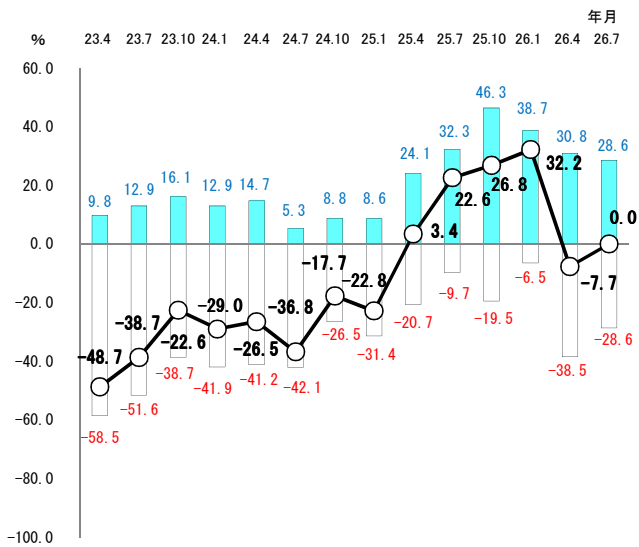


##### 収益率

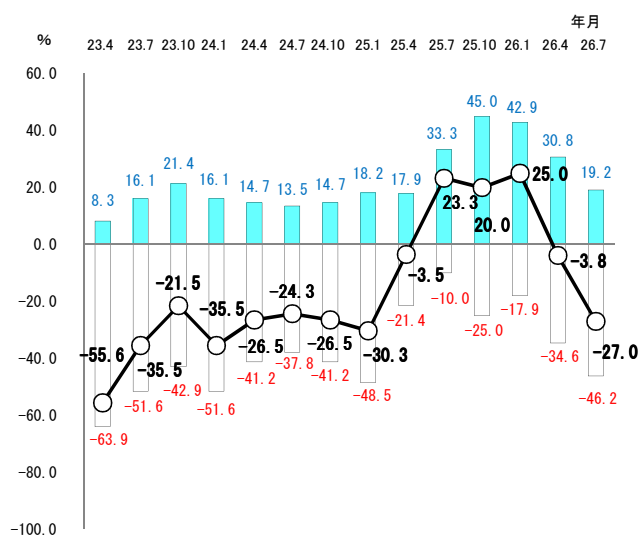


# ア 建設業

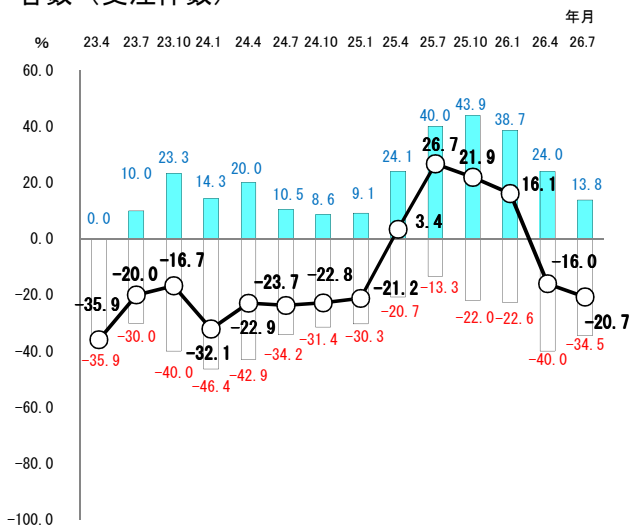
## 業況



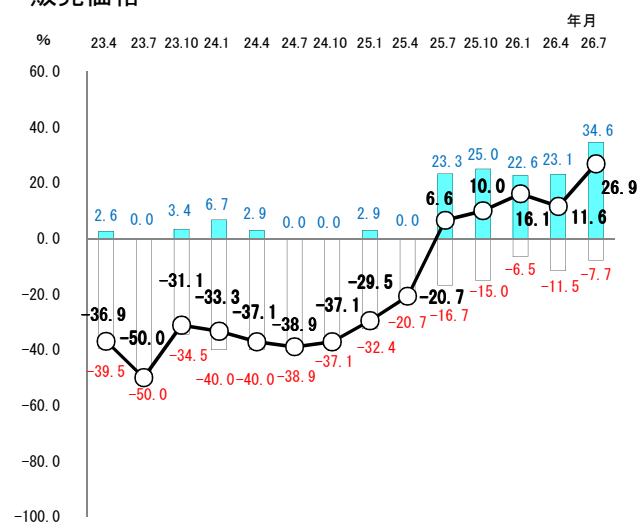
## 売上高



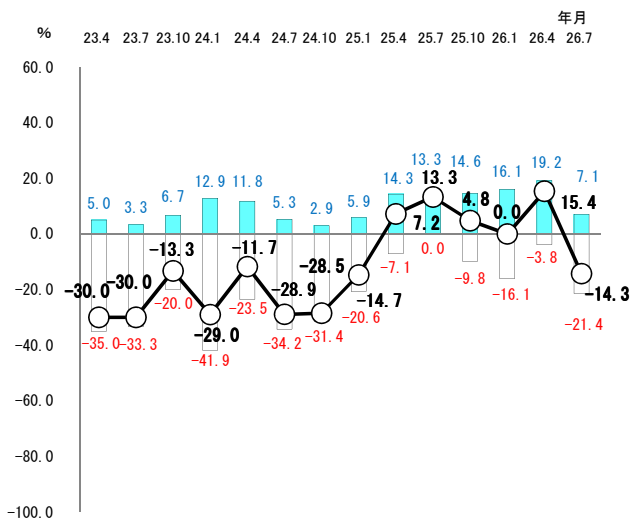
## 容数 (受注件数)



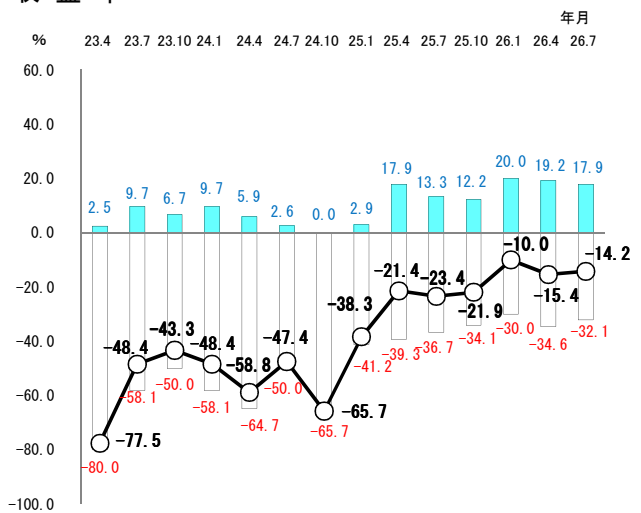
## 販売価格



## 資金繰り

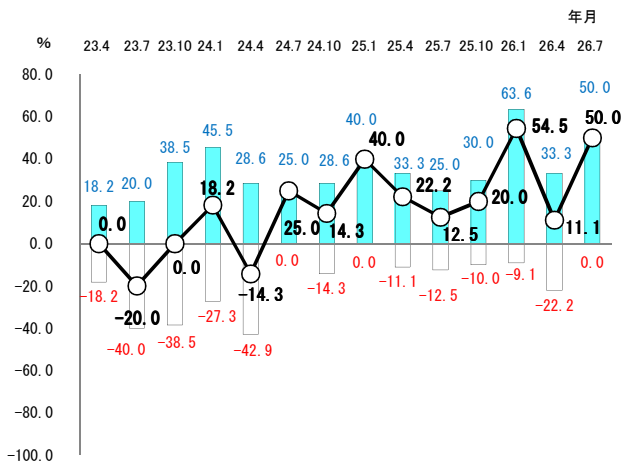


## 収益率

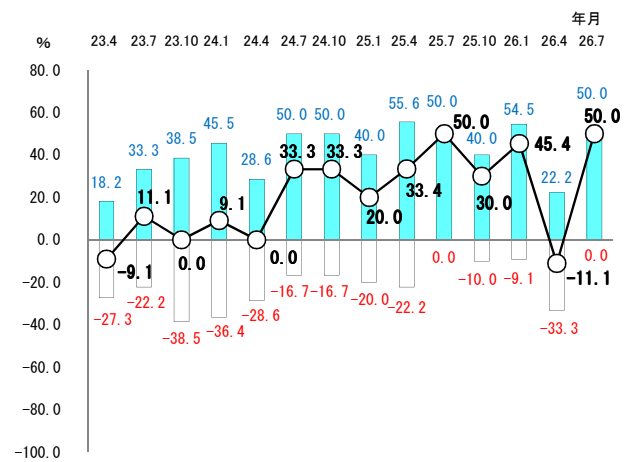


## イ 情報サービス業

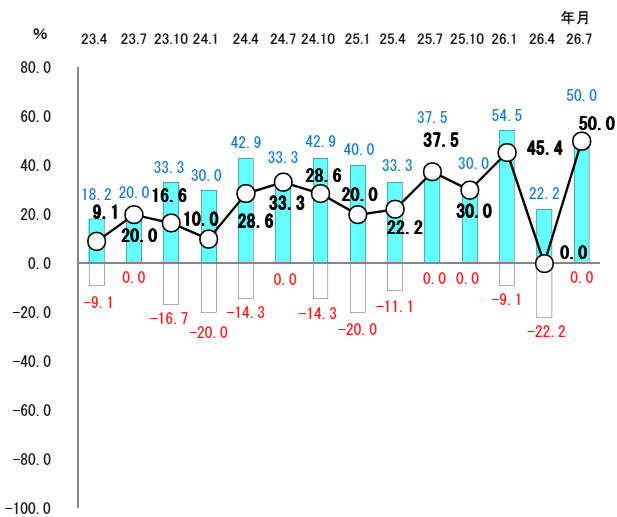
### 業況



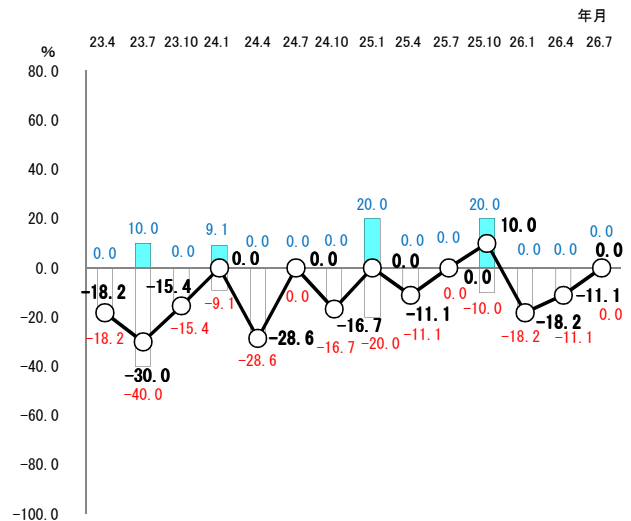
### 売上高



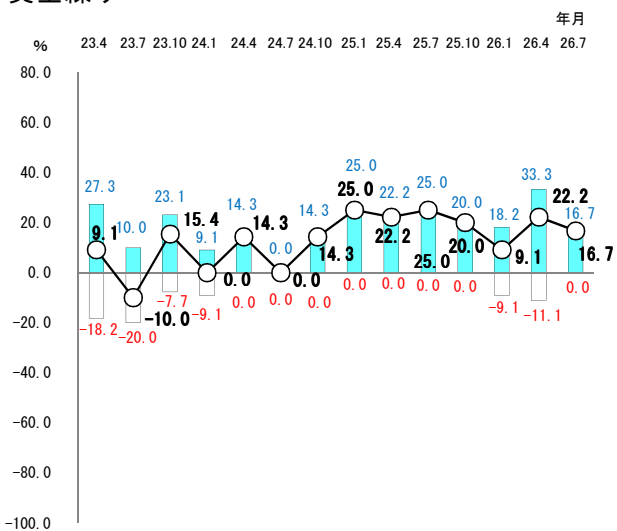
### 客数 (受案件数)



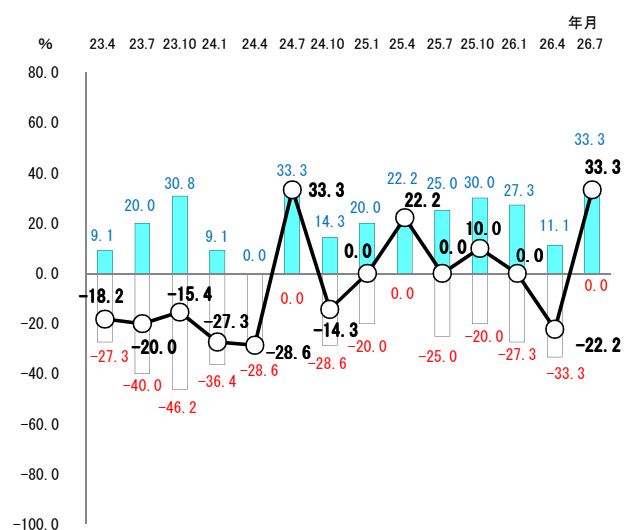
### 販売価格



### 資金繰り

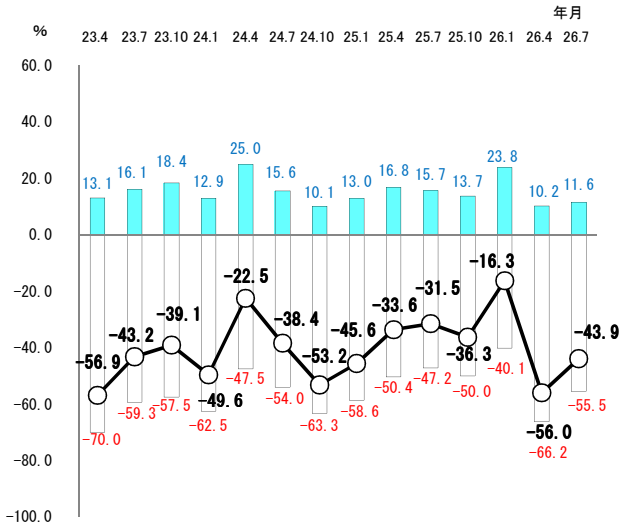


### 収益率

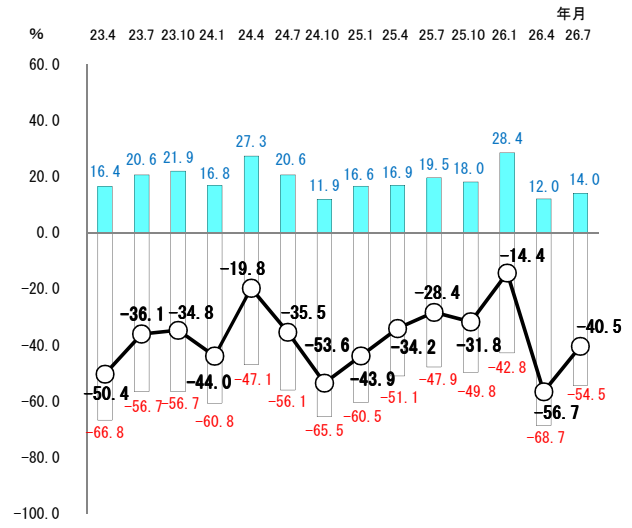


# ウ 小売業・卸売業

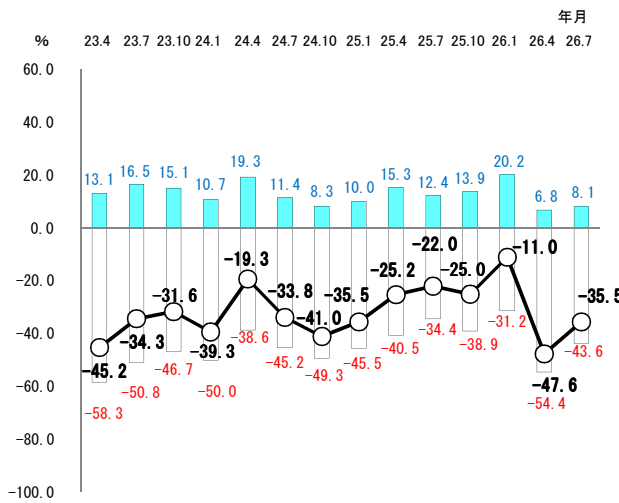
## 業況



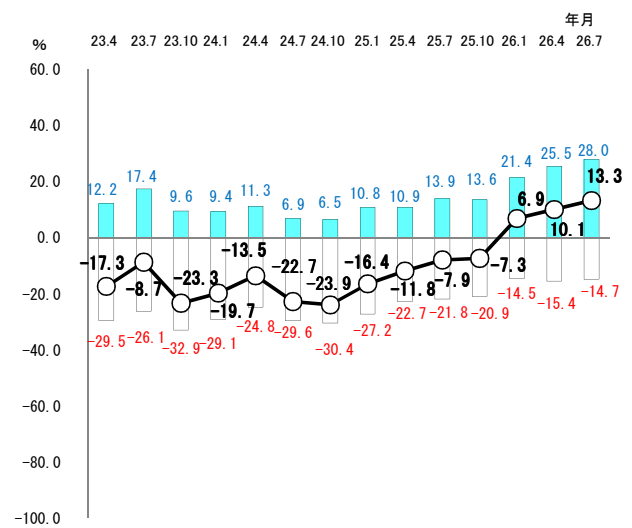
## 売上高



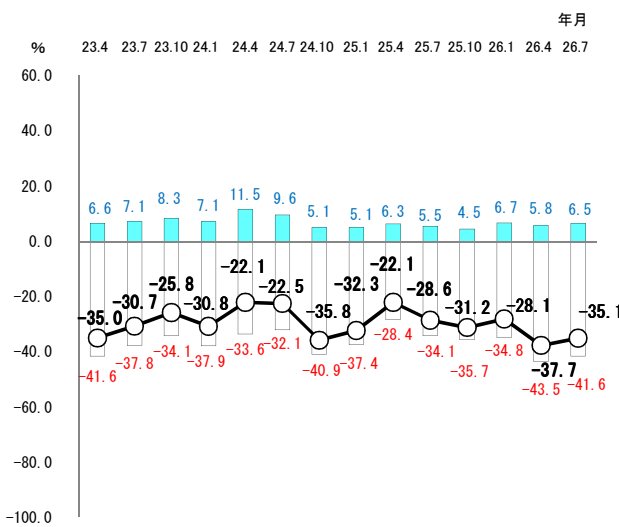
## 客数 (取引先数)



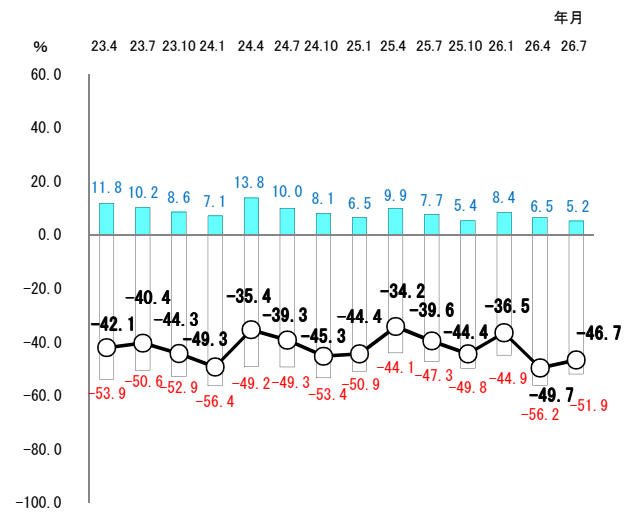
## 販売価格



## 資金繰り

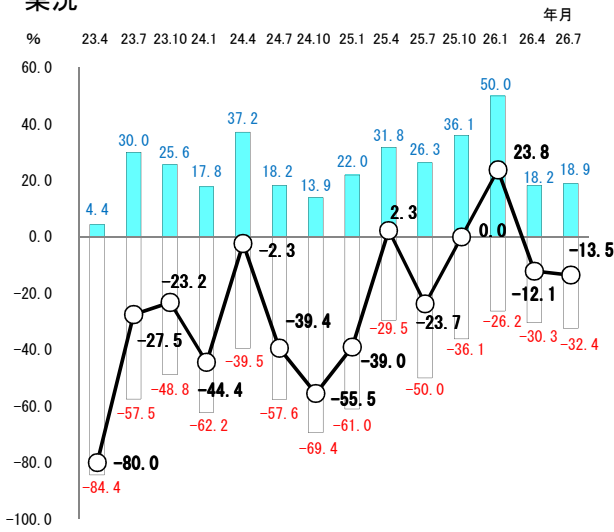


## 収益率

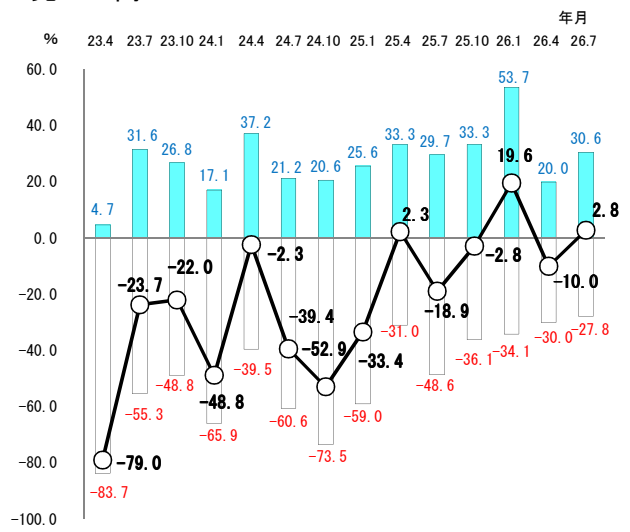


# 工 飲食業・宿泊業

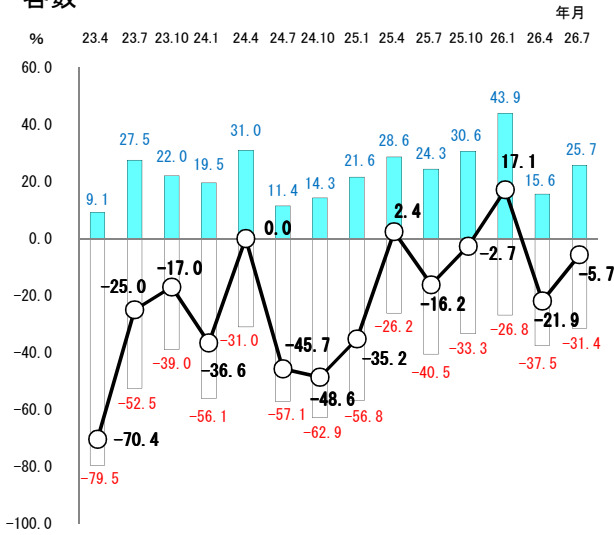
## 業況



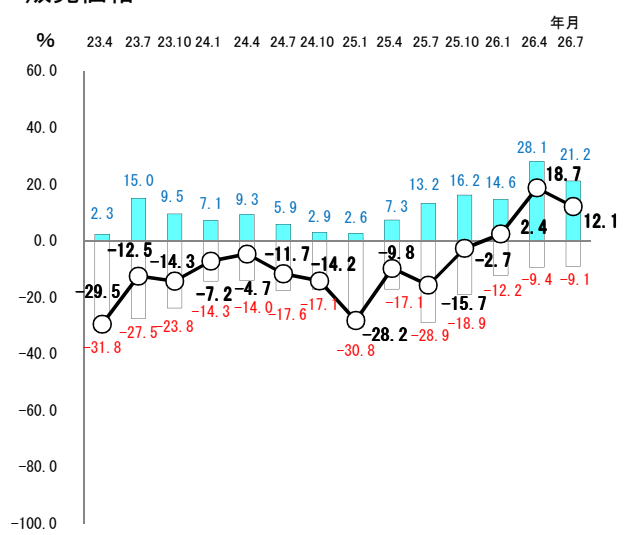
## 売上高



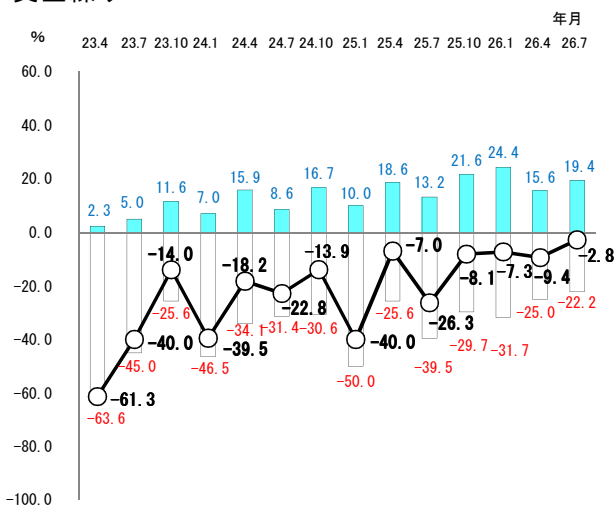
## 客数



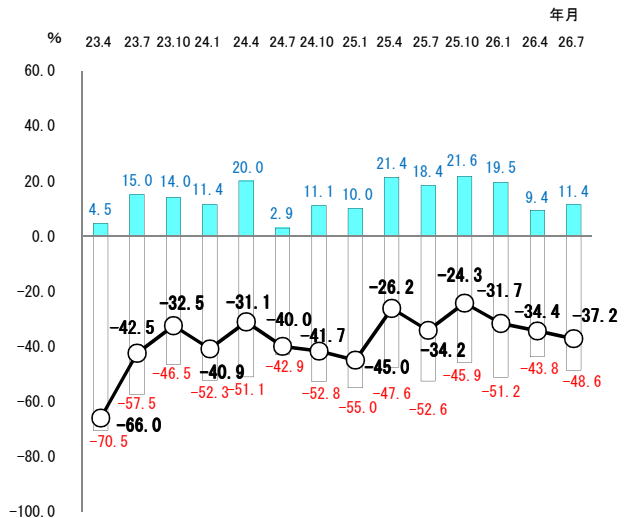
## 販売価格



## 資金繰り



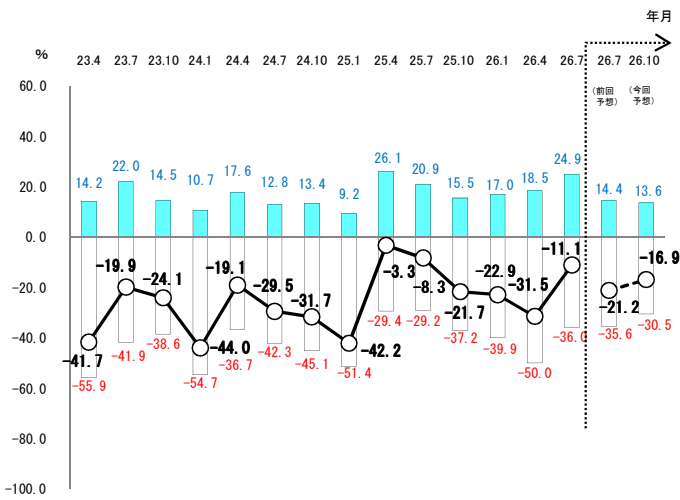
## 収益率



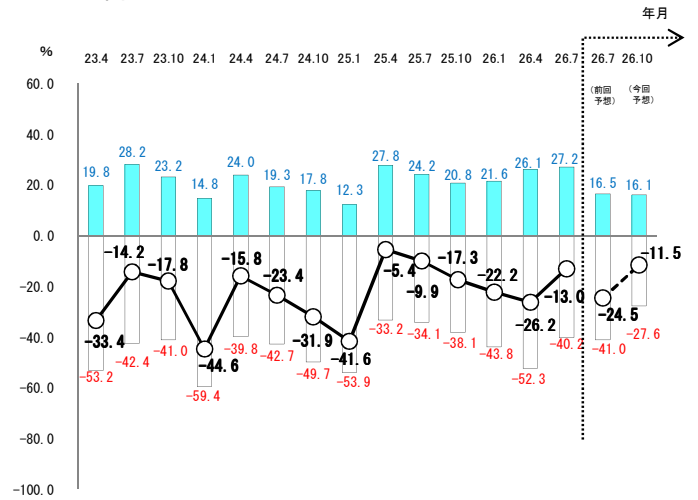
## (2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

### 非製造業全体

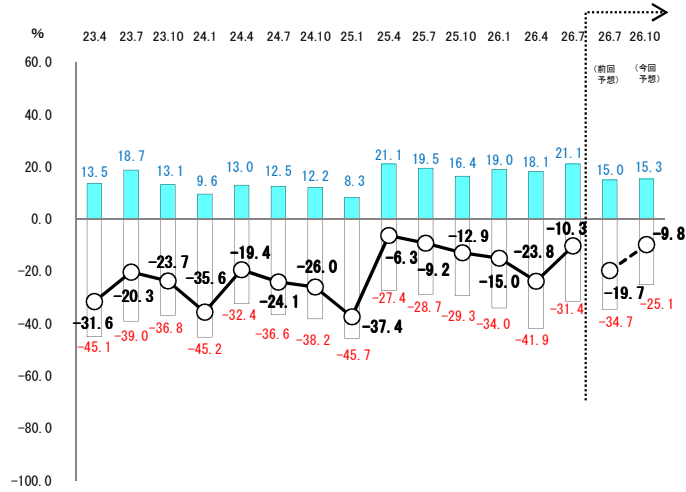
#### 業況



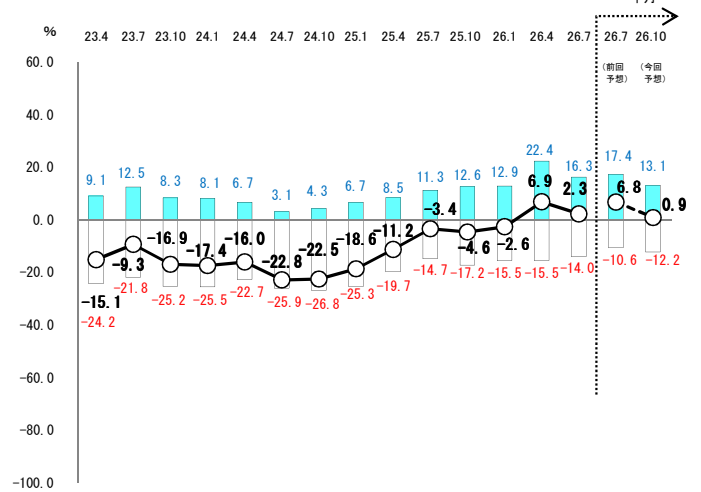
#### 売上高



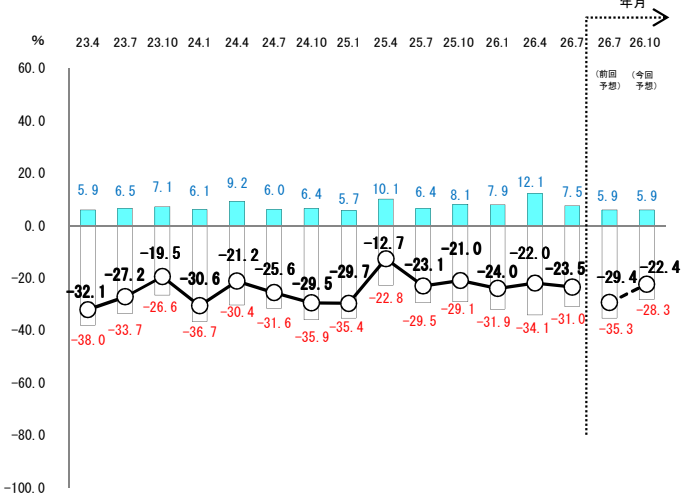
#### 客数 (受注件数)



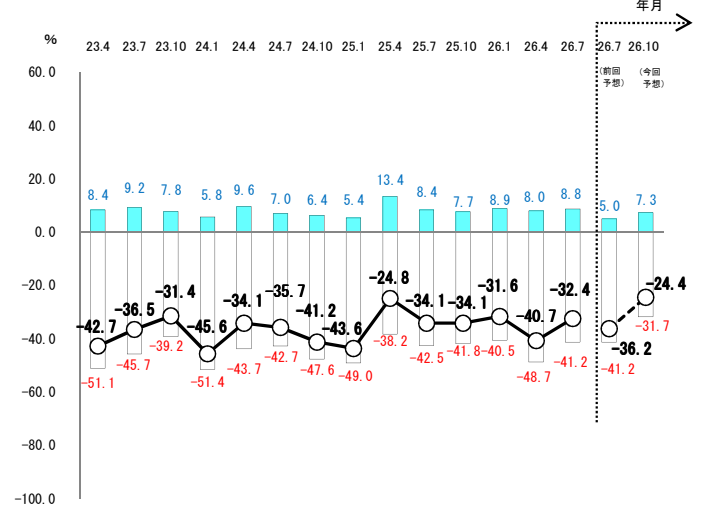
#### 販売価格



#### 資金繰り



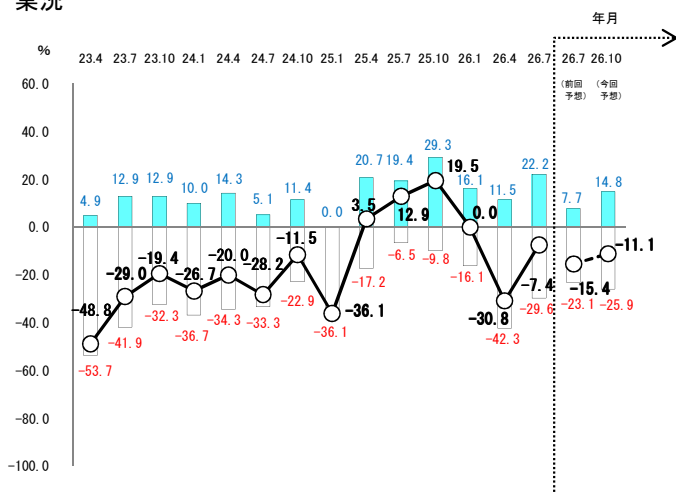
#### 収益率



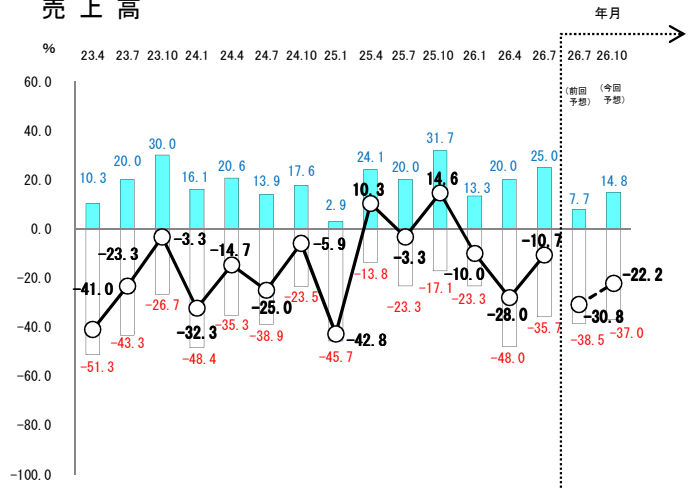


# ア 建設業

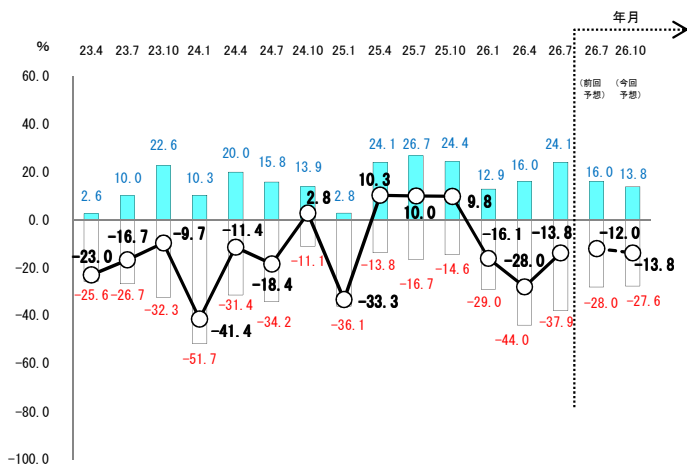
## 業況



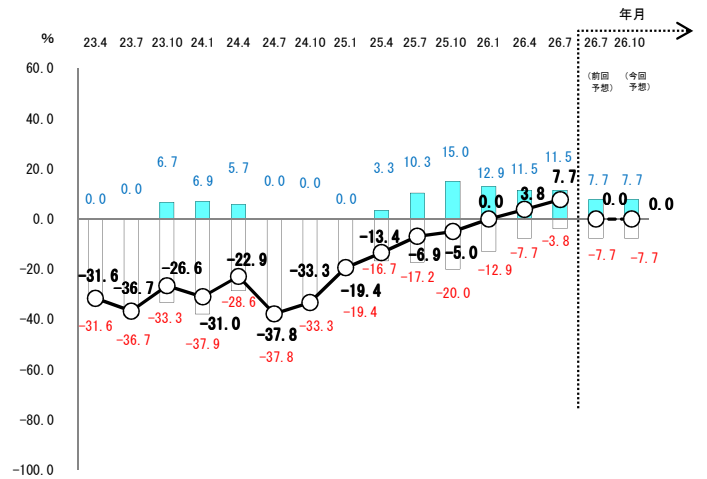
## 売上高



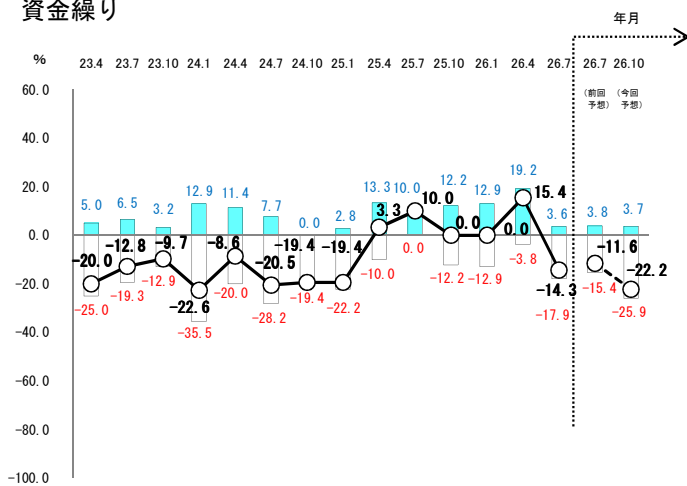
## 客数 (受注件数)



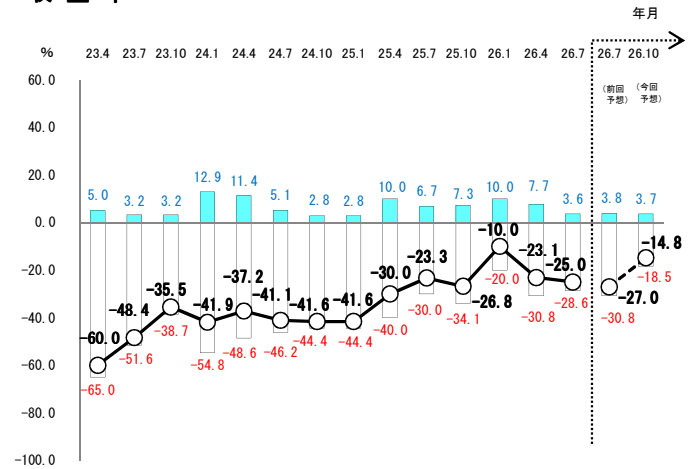
## 販売価格



## 資金繰り

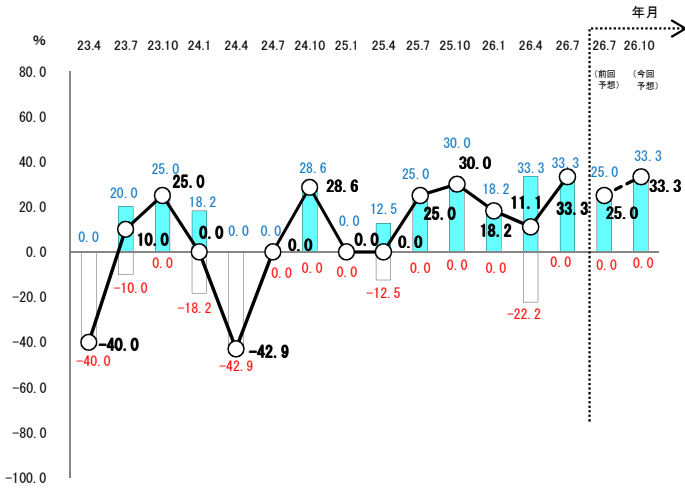


## 収益率

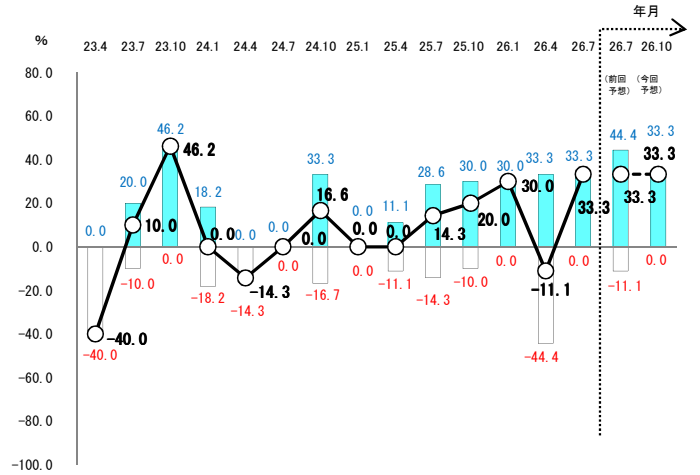


# イ 情報サービス業

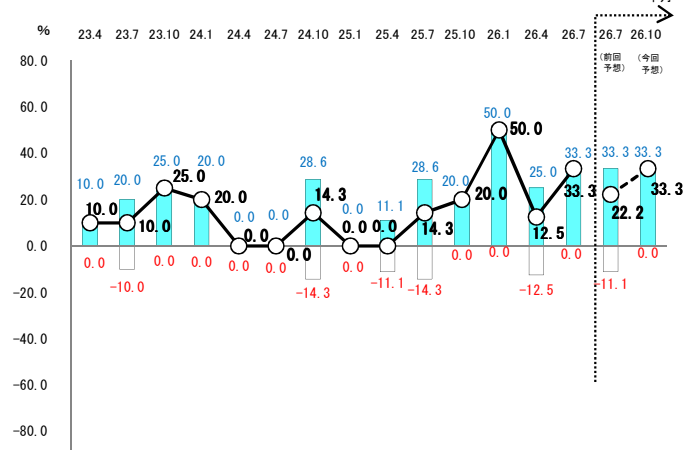
## 業況



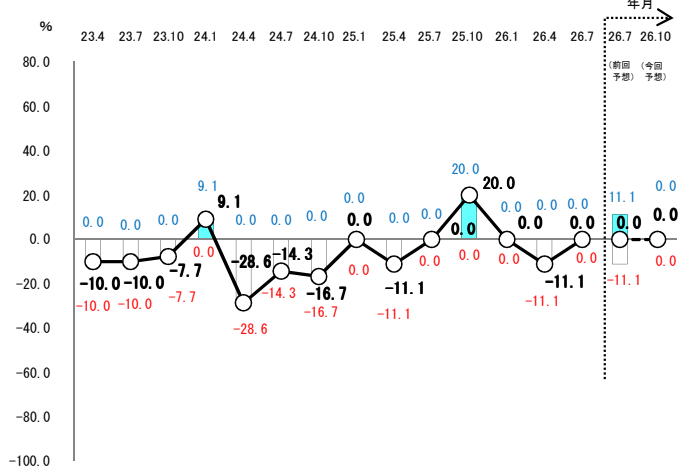
## 売上高



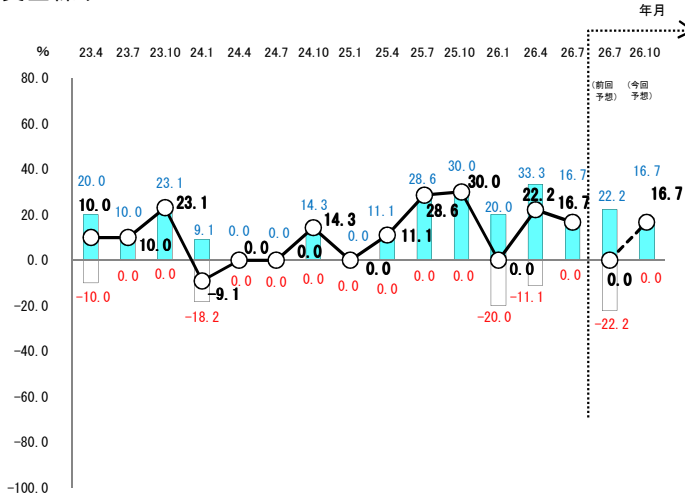
## 客数 (受注件数)



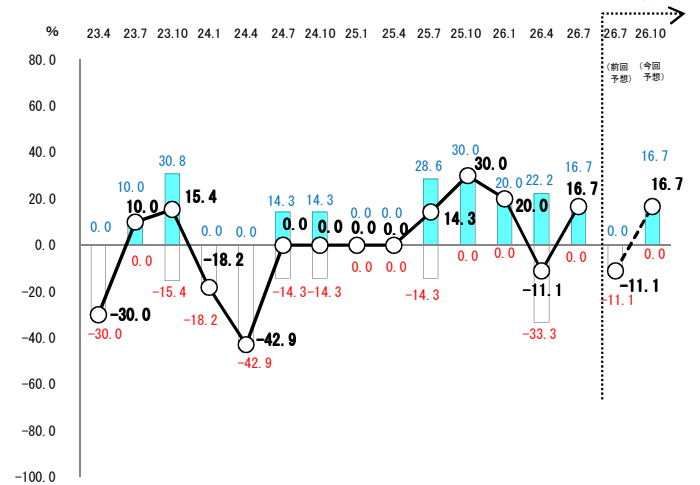
## 販売価格



## 資金繰り

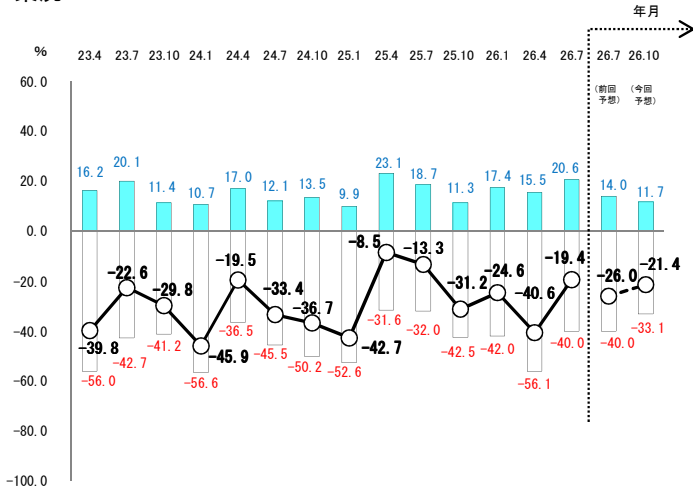


## 収益率

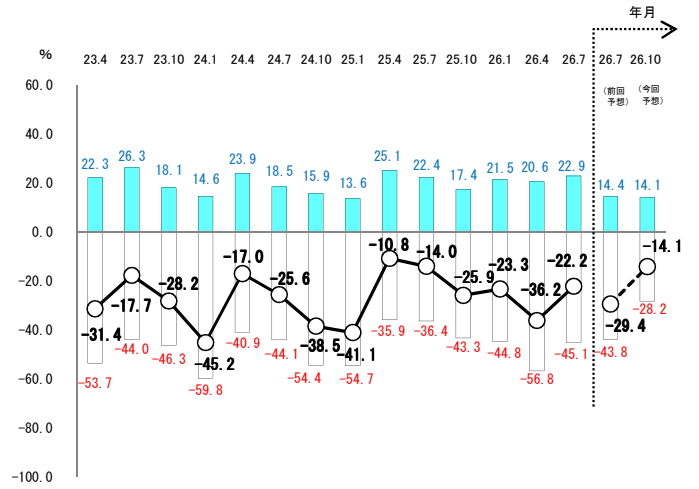


ウ 小売業・卸売業

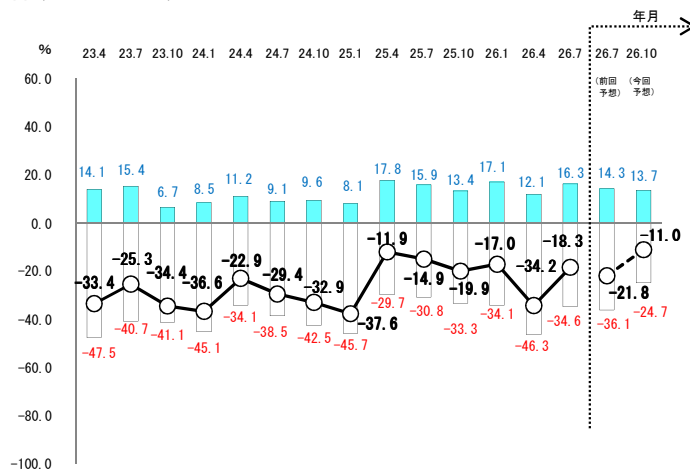
業況



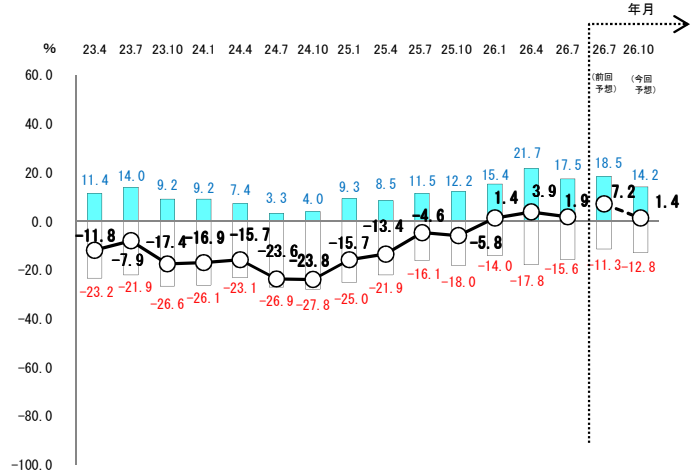
売上高



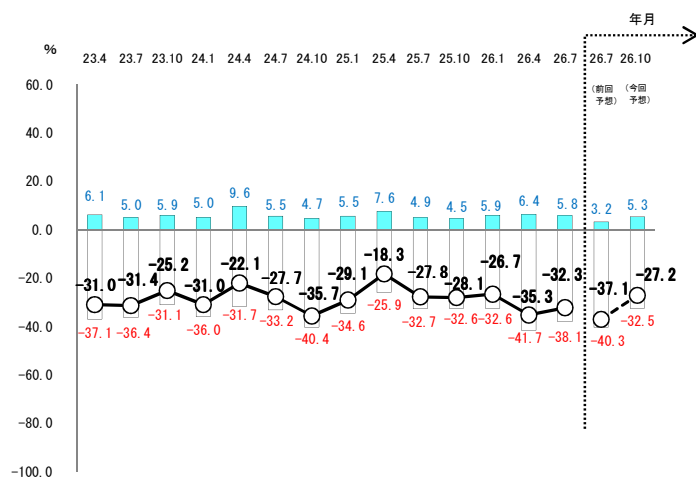
容数 (取引先数)



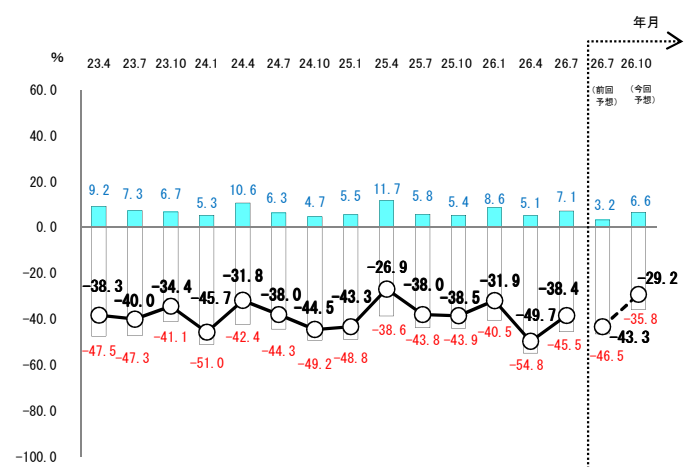
販売価格



資金繰り

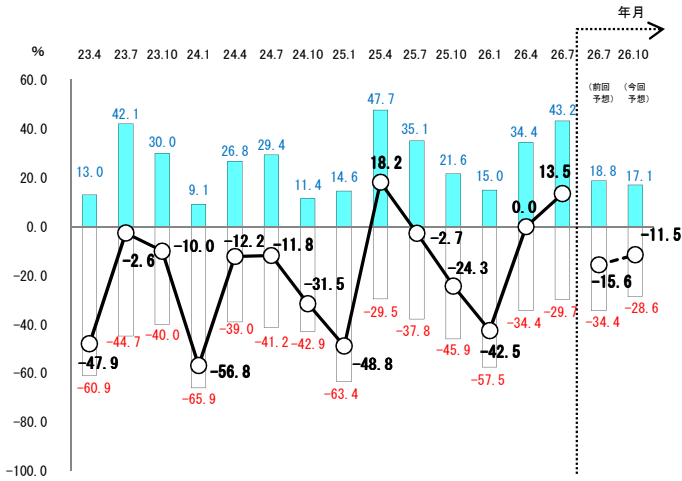


収益率

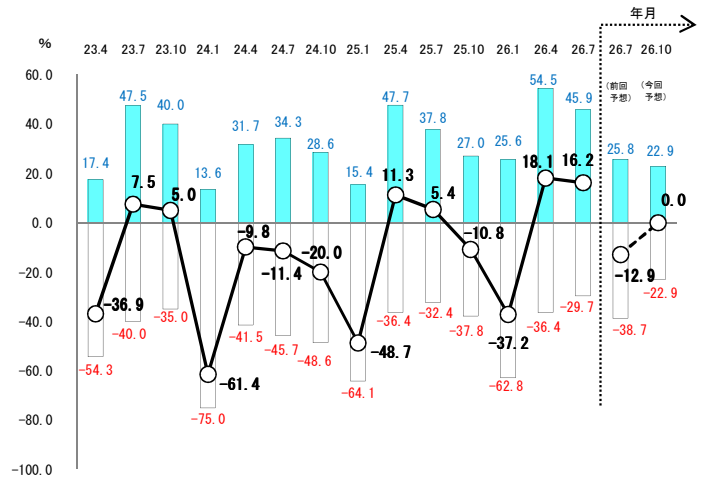


工 飲食業・宿泊業

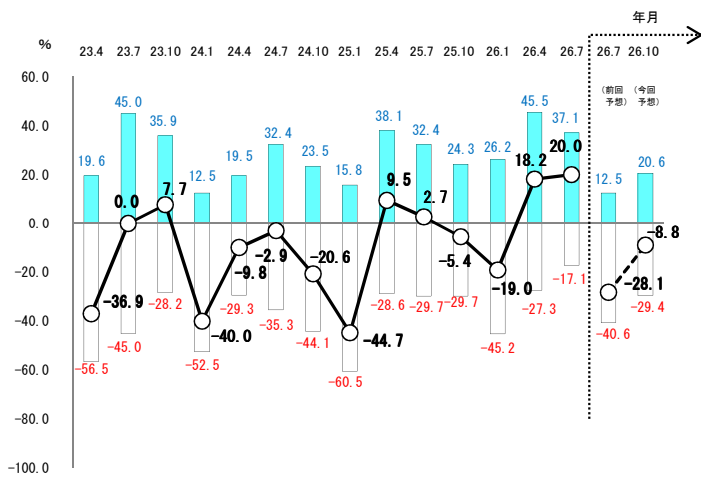
業況



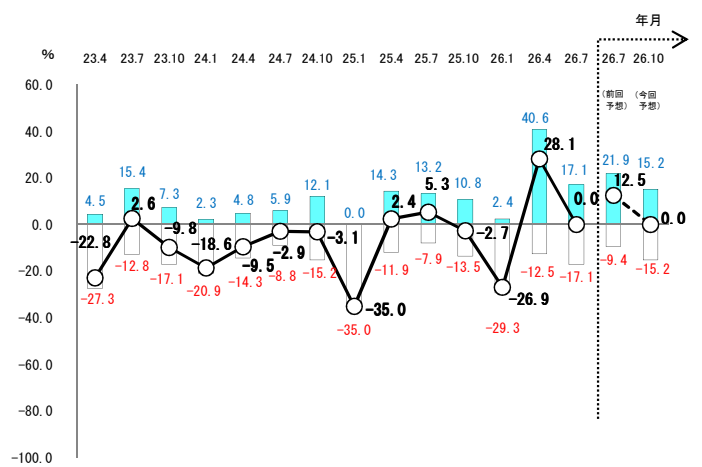
売上高



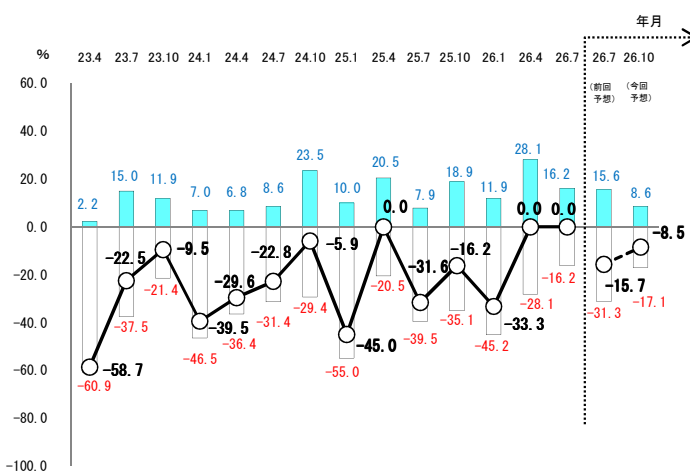
客数



販売価格



資金繰り



収益率

